

相模原市宮橋本駅北口第1自転車駐車場他13施設の

指定管理者選考委員会の議事概要及び選考の概要

<選考委員会の議事概要>

1 日時

令和4年9月27日（火） 午前10時5分から11時15分まで

2 会場

橋本公民館 小会議室

3 出席者

- (1) 土木部指定管理者選考委員会 4名
- (2) 事務局（都市建設局土木部路政課） 4名

4 選考委員会の委員の構成

- (1) 公認会計士税理士（委員長） 1名
- (2) 大学教授 1名
- (3) 特定社会保険労務士 1名
- (4) 市職員 1名

5 公開の可否

議題（3）選考委員会（意見交換）については土木部指定管理者選考委員会設置に関する要綱第10条により非公開とし、その他は公開とした。

6 傍聴者数

0人

7 議題

- (1) 提案説明会
- (2) 採点
- (3) 選考委員会（意見交換）

8 議事概要

(1) 提案説明会

相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体

申請団体からの提案説明を受け、それに対して選考委員会委員が質疑応答を行った。

（主な質疑応答）

委員：事業計画書において、キャッシュレス決済の提案をいただいている。市民ニー

ズの高い事業であると認識しているが、これにより利用者のニーズにどの程度対応できるものと考えているか。

申請団体：代表団体の運営する別施設では、利用者の約6割の方がキャッシュレス決済による支払を行っている。市営自転車駐車場は通勤、通学の需要が高いため、交通系ICカードによる決済が可能となれば相当のニーズにお応えできると考えている。

(2) 各選考委員会委員が評価基準に基づき採点を行った。

(3) 事務局より申請団体の合計得点を報告し、提案説明及び質疑応答の結果を踏まえて選考委員会委員で意見交換を行った。

(主な意見)

- ・キャッシュレス決済対応機器について、市が必須としている事業ではなかったものの導入に向けて積極的な提案がなされており、利用者ニーズを的確に把握されているという印象をもった。
- ・収支予算の利用料金収入について、少々見立てが高いようにも感じたが、新型コロナウイルス感染症の流行による減収からの回復を見込んでいることに加え、自主事業を積極的に展開するなど14施設全体で利用率の底上げを図っていくものと解釈し、手腕に期待したい。

<選考の概要>

1 選考結果

相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体を指定管理者候補団体とすることとした。

2 選考理由

- (1) 評価基準に基づく各選考委員会委員の採点の結果、合計点が最低基準点である240点を超えたこと。
- (2) 各評価項目において、施設設置目的に照らして適正な施設運営が行われる水準を満たしており、かつ、市民サービスの向上が図られるものと評価したもの。
- (3) 候補団体の経営状況について特段の課題はなく、安定的な管理運営が期待できること。

3 評価基準・評価結果

指定管理者候補団体（相模原市まち・みどり公社、NCD運営共同事業体）の評価基準に基づく評価結果は、次のとおりです。

評価項目		配点	候補団体
事業計画書に対する評価			
内 訳	指定管理者の適性	20	15
	管理運営方針	20	15
	地域活性化	20	14
	計画事業（自主事業を除く）	20	13
	自主事業	40	30
	利用者ニーズ	40	28

	維持管理計画	20	13
	人員配置	20	13
	安全管理及び緊急時の対応	20	14
	適正な管理・経理	20	13
	小計	240	168
収支計画・経費的效果に対する評価			
内 訳	収支計画の妥当性	20	12
	基本納付金の提案額	20	12
	利益の還元	60	36
	小計	100	60
管理能力に対する評価（団体本体に対する評価）			
内 訳	団体の経営状況	20	20
	団体の管理能力	20	12
	労働環境の適正性	20	12
	小計	60	44
合計		400	272

※合計得点における最低基準点は240点としました。